

みち



潟上市立天王南中学校

3年部学年通信

H22.11.26 No.38

文責 長崎 涼子

うたえ おどれ かがやきのうた

天南GPで自分を表現！Part1

いよいよ21日。8時10分、天王総合体育館に向けてバスが出発しました。バスの中は緊張感のせいかちょっといつもとは違った雰囲気を感じられました。会場到着後、最終確認と練習が行われました。そうしているうちに次々と2階観客席が埋まっていき、オープニングを迎える頃には立っている人もいるほど、多くの方が会場を埋めていました。



蒼海太鼓OBによるオープニング。太鼓の音を聴きながら緊張感と心地よい興奮を感じることができたのではないのでしょうか。



声が出なかったり、大きな動きができなかったりして、何度もだめ出しをされながら練習した天南ソーラン。学年合唱の後絆纏の袖に手を通すとき、「これが最後かな」と思ってちょっと寂しく思った人もいたのではないのでしょうか。最後だという思いもあってか、男子だけではなく普段おしとやかな(?)女子もこのときとばかり大きな声を出し、男子顔負けの踊りを見せてくれました。うれしかったのはその一人一人の顔にあふれるような笑顔が見られたことでした。



天南ソーランを終えると最後は全校合唱です。「大地讃頌」は、合唱曲としてよく歌われていますが、難しい曲です。歌詞も難しく、最初は意味をよく理解しないで歌っていた人も多かったようです。でも、音楽の時間の練習に始まり、学年、全校と練習を重ねるうちにだんだん歌いこなしてきた様子を感じられました。金足農業高校の夏目先生から細かな所まで指導していただき、歌に表情も出てきました。3組の石塚裕也さんの指揮、2組荻原葵さんのピアノでの合唱です。本番前一週間の練習で歌が大きく変わり、互いの音の響きを楽しみながら歌うことができるようになりました。こうして迎えた本番も、それぞれのパートが自分たちの音を大切にしながら紡ぎ出されたハーモニーを楽しんでいたように感じました。 次号に続く

